

※本製品を装着することにより、ホイール&タイヤが外側に4mmオフセットします。純正タイヤ&ホイール以外を装着している場合は、フェンダーからタイヤがはみ出す場合があります。

※本製品のブレーキキャリパーは純正ホイールのスポーク形状を逃げるように設計されています。社外ホイールの場合、純正同サイズでもインチアップされた場合でもスポークの形状によっては干渉する場合があります。

Brembo Brake System

ブレンボブレーキシステム No. MLY500

取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1

TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ ブレンボブレーキシステム をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輛に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください

1. 本書に記載する説明に従って装着を行うこと。本書に記載する以外で、当製品の取付上やむをえない場合を除く製品の加工・改造・分解および、車輛の改造は絶対行わないこと。
2. 当製品の通常の取り付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、又は当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
3. 純正部品の取外・取付作業は、マツダ(株)発行の整備解説書を参照に作業を行うこと。
4. 当製品の装着は、下記に記す適合車種欄に記載する車両にのみ行うこと。
5. 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正でない部品が取り付けられていた場合、または日常点検を怠ったために発生した事故等については、一切の責任を負いません。

適合車種

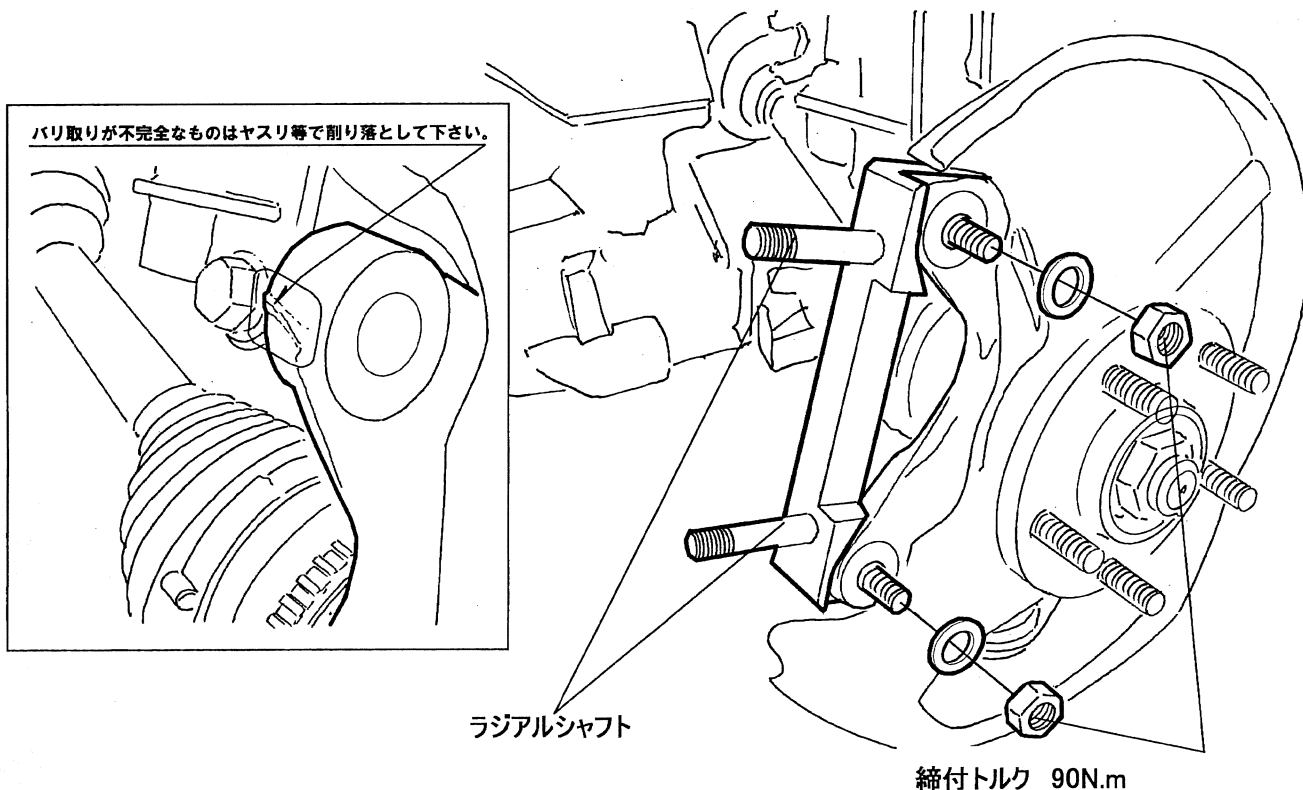
CX-7 ER3P-100001~ MPV LY3P 100001~

構成部品

No.	部品名称	部品番号	数	No.	部品名称	部品番号	数
①	ブレンボキャリパー LH	20.7784.31	1	④	ブレーキローター AssyRH	09.5682.60	1
②	ブレンボキャリパー RH	20.7784.41	1	⑤	キャリパーブラケット		2
③	ブレーキローター AssyLH	09.5682.50	1	⑥	ブレーキラインセット Fr		1

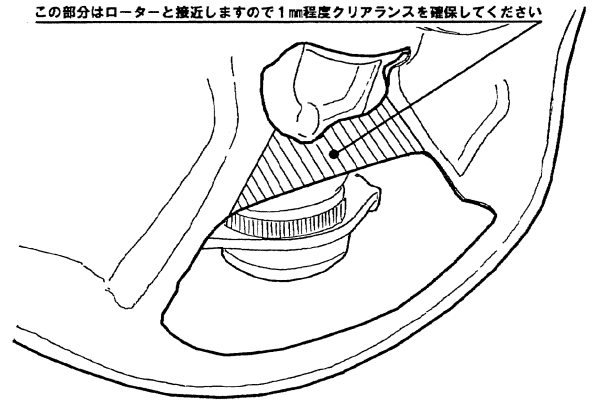
装着作業

1. 純正ブレーキキャリパー、ブレーキローターを取り外してください。
2. ⑤キャリパーブラケット(左右共通)をハブキャリアに装着します。※純正ハブキャリアの図示部分のバリ取りが不完全で、キャリパーブラケットを吻合できない場合があります。この場合はヤスリを使用して、ブラケットが吻合できるまでバリを削り落としてください。キャリパーブラケットは剛性を確保する為、SCM435(クロームモリブデン鋼)材を使用し、表面をブラックメッキ処理されていますが防錆目的の為、表面に塗布されている防錆材は完全に落とさないで下さい。



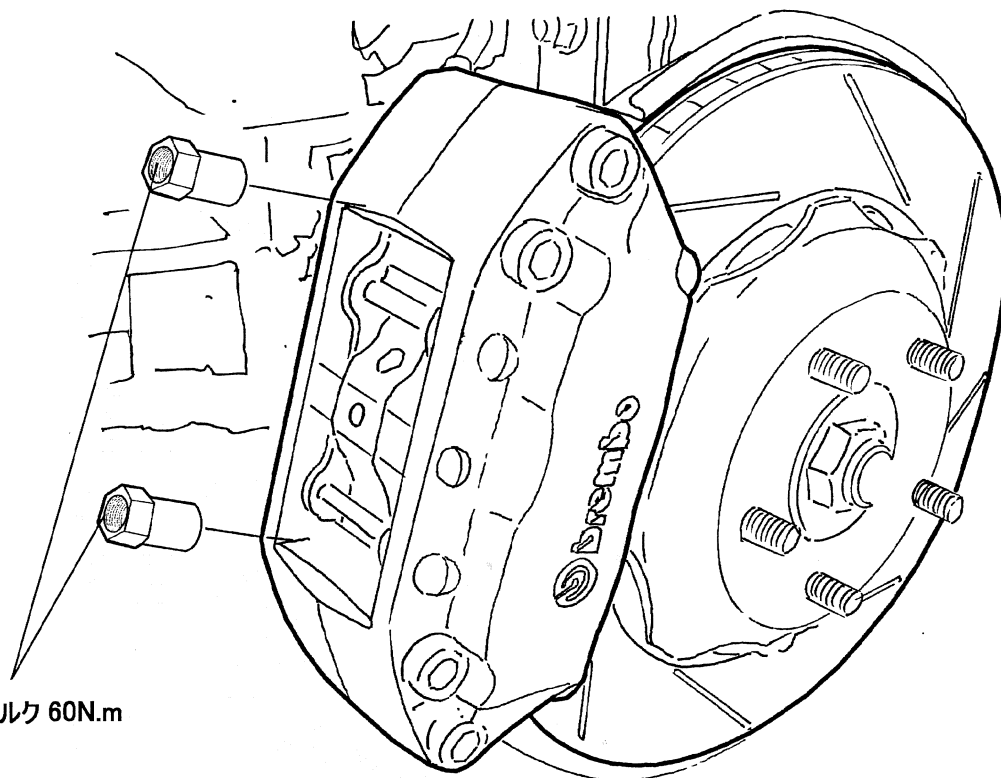
3. バックプレートの図示部分がローターと接近しますので、バックプレートを曲げて1mm程度のクリアランスを確保して下さい。
※クリアランスが確保されている場合もあります。

この部分はローターと接近しますので1mm程度クリアランスを確保してください



4. ③④ブレーキローターを装着します。ブレーキローターには左右向きがありますので注意して組み付けてください。識別方法は外周面に部品番号の刻印がありますので以下の構成部品の部品番号と照合して左右をご確認ください。左右を間違えて装着した場合、ブレーキが正常に機能しなくなります。

5. キャリパーブラケットに固定されているラジアルシャフトに防錆潤滑剤を塗布します。①②ブレーキキャリパーをプラスチックハンマー等で軽く叩きながらラジアルシャフトに挿入して、付属の特殊ナットで固定します。※ブレーキキャリパーには左右向きがありますので注意して組み付けてください。識別方法は部品番号のラベルが貼付してありますので構成部品の部品番号と照合して左右をご確認ください。※左右を間違えて装着した場合、ブレーキが正常に機能しなくなります。



締付トルク 60N.m

6. 別紙“ブレーキライン/フロント取付要領書”を参考にブレーキラインを装着し、エア抜きをして作業完了です。

装着後の注意

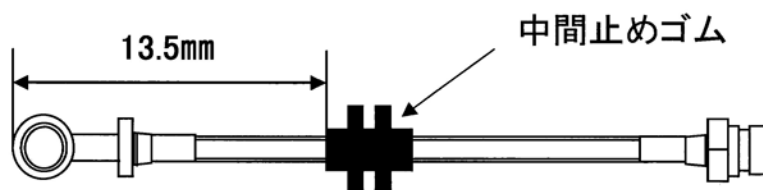
1. ブレンボブレーキシステムはブレーキローターとブレーキパッドの当たりがつかまでは100%制動力を発揮できません。目安としてローターの表面に施されている表面処理(亜鉛メッキ※金色)が完全に削られるまでは、充分注意して運転するように心掛けて下さい。
2. ブレーキローターは2ピース構造で精密に組み上げられておりますので、決して分解しないで下さい。
3. キャリパーブラケットにアッセンブリされているラジアルシャフト及びボルトは精密に組み上げられておりますので決して分解しないで下さい。

ブレーキライン/フロント取付要領書

取付けの際、周辺機器に干渉しないよう、注意してください。

【1】中間止め位置の指定

- ・ 右図の位置に付属の中間止めゴムを固定します。その際、付属のタイラップ小を使用します。



【2】メスアダプター(ボディ側)の取付け

- ・ (B)のメスアダプターを車体側ブレーキホースホルダーにセットします。そして、フレアナットを仮締めします。

※ホルダーは5角形になっています。しっかりとセットされていないと、ウェイブクリップでの固定が出来ませんので注意して下さい。

- ・ 純正のウェイブクリップを使用して、車体側ホルダーに固定します。

- ・ 仮締めしたフレアナットを、1.8~2.3kgf・mのトルクで締め付けます。

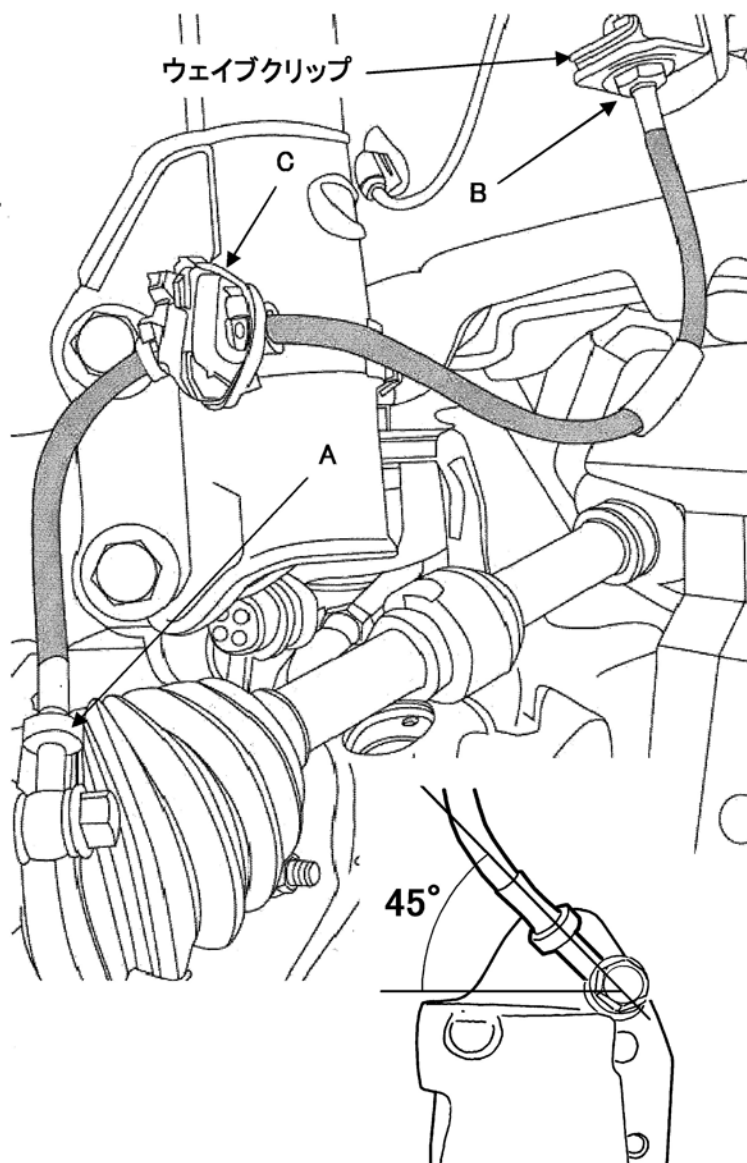
※フレアナットの締め付けは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用してください。

【3】バンジョーアダプター(キャリパー側)の取付け

- ・ (A)のバンジョーアダプターを付属の銅ワッシャーと純正バンジョーボルトを使用して取り付けます。

- ・ その際、右下の図を参考にホースがねじれないよう、**図示指定角度**で取り付け、1.8~2.3kgf・mのトルクにて締め付けます。

※ キャリパーの回り止め穴は使用しません。



【4】中間止めの固定

【1】で取り付けした中間止めをタイラップ(大)を用いて、ストラットケースのブレーキホースホルダー(C)に固定します。その際、タイラップをタスキ掛けにしっかりと固定します

注) 規定トルクでフレアナットを締め付けても、オイルにじみ・漏れ等が発生する場合には、フレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールする様に、フレアナットの増し締め又は、フレアパイプの修正、交換を行ってください。